

TKC・金融機関 新年交流会

平成29年2月9日(木) マリアージュグランデにてTKC・金融機関新年交流会が開催されました。60事務所83名の所長、職員様にご参加いただきました。

TKC会計事務所のビジネスモデルとは

TKCは正確な決算書が作成出来るというが、ほんとにそうなのか、なぜそう言えるのか。税理士は中小会計要領に則って決算書を作成しなければなりません。その形式に沿っているだけでなく、各法律から見て、入口の仕訳が取引事実と合っていれば、決算書は正しくなります。問題は仕訳が合っているどうか、その部分を我々会計事務所が毎月訪問し、巡回監査を実施して確認しています。だからこそ、「TKC会計人の作成する決算書は正しい」ということが出来るのです。



TKC近畿京滋会
会長 佐藤 正行 先生

金融機関との付き合い方と眼力強化



特定非営利活動法人
日本動産鑑定
会長 森 俊彦 氏

昨年の金融行政方針により、事業性評価が重要視されるようになりました。「事業性評価に基づく融資や本業支援」の全国への普及 **専用当座貸越(中小企業の「ライフライン」)**普及 金融仲介機能の活性化 全国の中小企業の活性化(地方創生) 日本浮上へ取り組んでいます。これは、決算書がしっかりしていないとスタートラインにも立てません!! TKC全国会へは**クラウド会計ベンダーとの隔絶した差(差別化)**を期待したい。また企業の価値を正しく表示し、レイジーバンクに対する牽制であってほしい。是非、地域金融機関とともに社長の意識改革を行ってください!

決算書がしっかりしていないとスタートラインに立てない!!! その上で、...

「事業性評価」=(オン)「事業性資産(特に、棚卸資産)の評価」+(オフ)「知的財産・資産(経営資源・強み等)の評価」

(必要運転資金に対応した専用当座貸越(短期継続融資))

(事業再生や成長支援のための設備資金融資)

情報交換会

情報交換会では各金融機関からご挨拶をいただきました。

【三菱東京UFJ銀行様】

「極め」はTKCビジネスモデルの素晴らしさに注目して作った商品です。TKCビジネスモデルを関与先に紹介するツールとしてご活用ください。

【京都銀行様】

銀行員だけの知識だけでは事業性評価は難しいと思っています。モニタリング情報サービスも含めて前向きに検討したいと思っていますので、今後ともよろしく願います。

【滋賀銀行様】

モニタリング情報サービスとの連携をさせていただき、TKCの先生方との連携を深め、地域活性化に力を入れていきたいと思っております。

【京都信用金庫様】

当行は事業性評価に基づいた経営支援に積極的に取り組んでいます。

【京都中央信用金庫様】

「より一層、一歩踏み込んでお客様目線で、お客様のお役にたてるように」という姿勢が我々の生きていく道であり、お客様から求められていることであると実感しております。